

■ VISTA 5 M2 ユーザーレポート

株式会社日テレ・テクニカル・リソース 様

VISTA 5 M2 - 22



日テレタワー 19階 A・Bスタジオを VISTA 5 M2 で更新



株式会社日テレ・テクニカル・リソース
ポスプロ技術センター ポスプロ技術部 MA
石井 康博

日テレ・テクニカル・リソースのMA室は、汐留・日テレタワー19階に4室、日本テレビ向かいの丸進ビルに3室があります。今回、日テレタワー内のA・Bスタジオを15年使ったデジタル卓の老朽化にともない更新、新たなメインコンソールとしてVISTA 5を選択しました。日テレタワー内のMA室は、デイリーの報道番組や情報番組などの追い込みMA作業が多い事から、絶対的な安定性と敏速な操作性が必須であります。また昼夜を問わずMA室が稼働し続けている為、機材にとっては非常に過酷な環境であり、それに耐えられるだけでなく、万一不測の事態が発生しても、部屋を止めずにメンテナンスができる事が条件でした。



なぜ VISTA 5 を選んだのか

1.安定性

DSPや電源の冗長構成がとられている事は勿論、トラブルが発生すれば瞬時に異常個所が判明でき、最悪、作業を続けたままカード交換が行えます。トラブルが発生しても作業を止めるリスクをできるだけ回避できる安全設計です。

2.操作性

VISTA 5を使ってまず感じたのは、シンプルで直観的なデスクデザインの良さです。オペレーションの手数が少なく作業効率が格段に早くなりました。「VISTONICS」画面は、セッティング変更を即座に行え、かつ状態を常に監視できる視認性の良さで、結果的にヒューマンエラーを減らし、安心、安全に作業できます。また、STRIP SET UP画面で、ドラッグ＆ペーストのみで自由にフェーダーの並びを変更できるのもいいところです。ダイナミック・オートメーションは非常にシンプルながら必要十分な機能性があります。更新前の卓で長年使い慣れた「ミックスツリー機能」があるため、ミックスの修正やバージョン違いの作り込み、後日のリメイク作業等も容易に行えます。

3.音質

伝統のステューダーサウンド。通常のダイナミクスの他にピンテージコンプを選択でき、エッジの立った太いサウンドが作れるのにも感心しました。

4.サイズ

設置スペースの限られたA及びBスタジオは、当初からクライアントスペースが狭く圧迫感があったのですが、VISTA 5のデスクの奥行きがコンパクトな為、更新前よりスペースが広がり、クライアント用ソファを、幅広なゆったりとくつろげる物に変更することができました。

運用を開始して

導入当初、通信関連の初期不良が発生しましたが、ステューダーの技術スタッフの適切な対応で、すぐに解消できました。このような迅速で適切な対応こそが私達にとってはもっとも重要であり、信頼感と安心感につながると思います。稼働から半年以上経過しましたが、トラブルは皆無であります。VISTA 5は今後10年以上、NiTROの音を支える良き相棒になってくれそうです。

